

令和元年度第3回丹波市総合教育会議 会議録

令和2年2月21日（金）午前9時00分～午前10時00分

丹波市役所山南支所3階 教育委員会室

出席者	市長	谷口 進一
	副市長	鬼頭 哲也
	教育長	岸田 隆博
	教育長職務代理者	深田 俊郎
	教育委員	横山 真弓
	教育委員	出町 慎
	教育委員	安田 真理
	企画総務部長	村上 佳邦
	政策担当部長	近藤 紀子
	教育部長	藤原 泰志
	学校教育課副課長	足立 和宏
	教育総務課長	足立 勲
	学事課長	前川 孝之
	文化財課長兼美術館副館長	長奥 喜和
	子育て支援課課長	上田 貴子
	教育総務課庶務係長	芦田 将司
	総務課長	田口 健吾

傍聴者 0名

1 開会

○村上部長 それでは皆様お揃いになりましたので、第3回総合教育会議を始めさせていただきたいと思います。なお、本日から新たに安田委員にも出席いただいておりますので、よろしくお願いいたします。

○安田委員 皆様、よろしくお願いいたします。

○村上部長 それでは本日の会議ですが、お手元の次第に沿いまして進めさせていただきます。本日は大変申し訳ございませんが、この後、それぞれ公務等入っておられますので、10時を目途に終了させていただきたいと思いますので、ご協力をお願いします。

2 協議事項

○村上部長 次第の協議事項に移ります。「教育大綱の策定について」でございます。皆様ご存知のとおり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第1条の3の中に「地方公共団体の長は、教育基本法第17条第1項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとする。」となっております。丹波市におきましては丹波市の教育に関する大綱ということで「ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち」というサブタイトルで定めております。これが平成27年度から平成31年度までということで、平成27年6月に策定いたしました。今回、この大綱の見直しにあたりまして総合教育会議の中で教育大綱についてご協議させていただきたいと思います。それでは教育大綱の内容につきまして市長からお願いいたします。

○谷口市長 先ほど企画総務部長から話がありましたとおり、昨年12月に審議会の議決を得ました第2次丹波市教育振興基本計画に沿いまして大綱を策定しましたので、協議をさせていただきたいと思います。他の自治体を見ますと、教育振興基本計画＝大綱とするところも見られます。しかし、振興計画は分厚くて、読みこなすのがなかなか難しい。そういう意味で私も教育委員

会のことすべてに口をはさめる訳ではありませんが、教育について語らなければならぬという場面もございまして、私なりの言葉でスローガンのようにまとめたのが、お手元の「未来へつなぐ教育」という1枚ものです。更に詳細に関しましては教育振興基本計画を十分にお読みくださいということです。ということは、内容はほとんど振興基本計画と変わりません。ここから拾い読みしたものや、私が好きな言葉を入れたものをご理解いただきたいと思いますのであります。

少し見ていただきますと4つのことについて書かせていただいています。まず1番目「ふるさとに愛着と誇りを」ですが、これは総合計画にもあります。また基本構想のなかにも大きく謳われております。参考に市民憲章をつけているのですが、これは昨年に議会の議決を経てこのように定めたもので、冒頭の水分れは丹波市の他にはない誇れる資源で、教育委員会所管の水分れ資料館のリニューアルが来年3月オープンで整備を進めています。それはともかく、私はこの中で一番大切だと思っておりますのが、4行目「おかえり」を合言葉に、という、ここが一番のキーポイントだと思っております。すなわち、丹波市に色々な思いを持って一旦出て行った人をまた呼び返すことができるかどうか、あたたかく迎え入れる文化があるかどうか、そういったことが大切だと思っております。

帰ってくる方にはそれぞれの事情があると思っております。それをとやかく聞かず、あたたかく迎え入れる、そういう風土があれば良いと思っております。私事で恐縮ですが、市長就任後の最初の広報のなかで、こういったことを書かせていただきました。市長コラムというのがあるのですが、そこでなぜ私は帰ってきたのかということ聞かれるのですけれども、思い返せば小学校での思い出があったと今になって思い返されます。私は当時、新井小学校にいました。1年から6年生まで36人、男子18人女子18人という野球をするのに便利な、誰も補欠がでないという人数でした。最後のほうに書いていますが、Uターンを選んだのは実に日本地図のせいだったと。今でも鮮明に覚えています。そのときの先生は氷上町の方だったと思っております。上野敏夫先生。ご存知の方もいらっしゃると思っております。こういったことを自由にさせてくれる先生でした。そのため、子供たちも大変結束ができて、これも私事で恐縮

ですが、4年前の立候補のとき、記者会見の際、17人と大変多くの方が駆けつけてくれまして、こんなに大勢来られたことはないと言われました。大勢応援してくれまして、「進ちゃん、帰って来いや」という声に促されて帰ってきたという訳です。

こういうふるさと教育を子供のうちに受けさせておくことで、子供たちに将来帰って来てもらう動機づけになるのではと思います。

2つ目には「まちの幸福論」と書かせていただきました。昨年12月には西小学校、1月には大路小学校で「まちの幸福論」をテーマに授業をされている現場に立ち合わせていただきました。子供のうちからこういう教育をすると地域を大切に作る心が芽生えてくるのだなと思いました。バックキャストと書きましたが、「将来的に人口が減っていくが今からどうするか」というフォアキャストではなくて、将来はこういう夢を描いて、理想にして物事を考えています。それを目掛けて何をしなければならないか、そういう教育は大変ありがたいなと思った次第です。

4番目は学校給食のことが書かれていました。これは基本計画の9ページにかなりしっかりと書かれています。食材をきちんと考えながら学校給食もこれから地場野菜の使用を進めていくということです。これは本当に大切なことだと思います。私は、丹波市の宝は農業だと思っておりますので、そういったことをここで書かせてもらったということでございます。

大きな2つ目で、時代の流れというのは本当に大きいなと。この3年の間ですらそうだと思います。この基本計画の前文で「予測困難で正解がない時代」と書かれています。これを子供たちが見ましたら「将来どうなるの」と思うような言葉ですけれども、将来、都会に出たときに怖気づかずに互角に渡り合えるような知識や学力をつけさせていく必要があるということで、これは基本計画の中でもしっかりと書いてあります。ICTやプログラミング教育、それに3番目にはSDGsという言葉が書かれてあります。実は私もSDGsという言葉が最近までよく知りませんでした。今日もSDGsのバッジを着けてきました。今では名だたる企業はSDGsという言葉が必ず口にしますし、その会社のトップの方もこういうバッジを着けておられます。

基本計画の14ページに出てきますが、SDGsは大きく教育に依存しているなど、教育の力に期待しているなど。教育がなければSDGsも広がりませんので。

そういう意味で、これからグローバルに考えますと、どういった国づくりをしていくか、世界をつくっていくかという点で重要なことだと思えます。

3番目に「安心して学べる居場所づくり」でございます。これも14ページに新しい言葉ですが「インクルーシブ教育」という言葉がでてきます。人権教育や外国人対応など、これからも色々な問題が出てきます。今日も昼から生涯学習の関係で答申が出されることになっています。障がいのある子供も地域と一緒に学んでいけるような体制をつくっていくことも大きなことだと思っています。

4番目が生涯教育です。真の地方自治というのは、住民自治という言葉がありますけども、地域のことは住民自身で決めるというのか基本だと思えます。役所任せにしないで、役所も何もしないと言っているわけではなくて、パートナーとして支援をしていく必要はあるのですが、主体的な考え方を持った市民をつくっていくという意味で大変重要だと思っています。

その中で重要なのが2つ目に書いております「知識循環型生涯学習」。我々も年を取ると思うのですが、「生きがいとは何だろう」ということです。色々な本を読んでおられますと、最終的には他人のために何ができるか、社会のために自分に何ができるか、ということに行きつくと思えます。単なる財産とか名声とかではないということです。年が大きくなって単に知識を学ぶだけではなくて、それをどのように活用できるか、あるいは実践に移せるかです。私はよくOB大学の卒業式で言っているのが、松下村塾の吉田松陰、あまりに急進的で最後は処刑されてしまいますが、彼が言っているのが知行合一、知識と行動はセットで、学んだことは必ず行動に移すということです。あまり急進的になる必要はないのですが、先輩方には失礼になりますが、今日学んで卒業されたことは、その知識を地域に返していただきますということを言わせていただいています。それこそが真の生きがいではありません

かと。

4番目には、ちょうどオリンピック、パラリンピックの年になっています。健康寿命日本一というのは前の辻市長のときからずっと丹波市が掲げてきたことです。実際にこの15年間で健康寿命が4歳延びています。つまり寝たきりの期間が短くなっているということです。これは各方面での活動のおかげだと思っています。

大変コンパクトで短いものではありませんが、これを教育大綱として、私もいろいろなところで話させていただきたいと思っております。

これをご覧いただいて、本体の基本計画と齟齬がある、欠落しているというようなことがありましたら、ご自由にご発言いただけたらと思います。あと1点ですが、12ページのところにこれからの人口がどうなっていくかというところですが、現在本市においては人口減少が顕著になっていて、2045年には44,599人、2060年には34,660人になると書かれているのですけれども、現在の計画では41,000人でとどまるように施策展開していきたいと標榜しておりますので、その点だけご認識いただけたらと思います。私からは以上です。

○村上部長 ありがとうございます。

それでは大綱につきまして、皆様からご意見をいただきたいと思っております。

○谷口市長 急に出しましたので、どこが違うか、なかなか分かりにくいかと思います。これにこだわらなくてもかまいません。丹波市の総合計画もそうですが、分厚いものができますと、とかく神棚に祀っておいて、ぼんぼんと拝んで終わりということもあります。それはやめておこうと。前回5年前にも大綱ということで分厚いものを作られていた。20ページもあって作った人も大変だったと思います。そこで申し訳ないのですが、1枚ものにさせていただきました。

○深田職務代理者 大綱の説明を聞いてA4の1枚に簡潔にまとめていただいたのは賛成です。欲を言えば、教育振興計画や総合計画ももう少し簡潔にし

ても良いのではと思います。急に色々なものが簡潔になってくるとなかなか大変なことです。まず市長から大綱を簡潔にまとめていただけるとありがたいことだと思います。そしてそれに続くものが細かい計画になっていくという形が良いと思っておりました。

総合計画にも教育振興基本計画にもSDGsのことは載っており、丹波市に住む人がどうあるべきかが示されておりますが、それをもとに私たちや子供たちが学びをすすめる、一緒に考えていくという流れができているのではないかと思いますので、この1枚というのは、私は賛成したいと思います。

○村上部長 ありがとうございます。横山委員お願いします。

○横山委員 丹波市らしさと今の時代の流れをとらえたメッセージが凝縮されていると感じました。一方でこの1年私も予測困難な時代に子供たちが突入していくという言葉が嘔みしめて考えてきたのですが、私は大学生や院生と触れ合う機会が多いのですが、彼らが10数年受けてきた教育に凝縮されているのですが、院生、彼らはまさにゆとり世代。大学生になればその域は脱しているのですが、端境期にあって教育の方針に翻弄されてきた世代ということをもろにみせつけられているのですが、どうしても大人がこういったキャッチコピーを目指して色々考えてやっていくのですが、それを子供たちや現場の先生が受け止めて教育につなげていけているかということ、今の子供たちを見てそれが感じられないと言いますか、たくさんの大人たちが関わってきた子供たち、今はもう大学生ですけども、先ほど知行という大変良い言葉をいただきましたが、今、手のひらで知識だけはものすごく世界中の情報を得られる状況です。それで口で話すのはとても上手ですが、アクトがまったく伴っておらず、それに危機感を抱いています。今の時代の状況をとらえるのは大変重要なのですけれども、そこから零れ落ちていくものがたくさん出てくると思います。例えばHow To、目標はあるのにHow Toがない。How Toがないのに最新の目標を掲げられますと、そこから色々なものが抜け落ちて、まず「予測困難だから先生たちもどうしていいかわからない」、予測困難だという言葉の中で、大人が何もしないということがこれまでもあつ

たのではないかなと日々感じております。これをする、あれをやりたいと言ってもどうしてやったらいいか分からないという子供たち、といっても大学生ですが、あまりにも多く、本当に質を伴ったこれからの教育の課題や責任を痛感しています。

こういう時代をキャッチしようと教育委員会や現場は頑張るのですが、そこに行動が伴っているのかという、そこを丹波市はどうしていくのかということを考えていくと丹波市らしい教育につながれると思います。そういう教育につなげるためのゆとりを先生方に与えていただきたいかなということ常日頃考えております。

○深田職務代理者 「大きな時代の流れを鋭敏にキャッチ」という項目があって「ICTによる技術革新、プログラミング教育の実施に向けて」というものがあるのですが、できれば今お話にありましたように予測困難な時代でプログラミング教育は基礎的な学習として必要なのですが、その他にもグローバルな方向に進んでいったり、同和教育が必要とか言われたりしております。ですからその大きな時代の流れに子供たちが向かっていくための力を育てるということを書いていただきたらと思います。

○谷口市長 先ほどHow Toが欠落しているというお話がありましたが、まさにプログラミング教育が目指していることだと思います。私もあまり理解がなかったのですが、このまえNHKのキャスターが分かりやすい解説でプログラミング教育はこういうことだというのがありました。パソコンや機械を介すことだけではなく、本当にこの課題に向き合おうとしたらどういう手順で何をどうしていったら良いのかということをしっかり考えるということなんでしょう。

2番の括弧1のところをもう少し分かりやすく書いてほしいというご意見ということでよろしいでしょうか。

○深田職務代理者 はい

○谷口市長 私は、プログラミング教育は思っていた以上に意義あるものだと
思っています。深いものだと認識したのですが、これを進めることで解決で
きるのではと思っております。書き直すことについては吝かではありません
のでよろしく申し上げます。

○村上部長 出町委員、いかがでしょうか。

○出町委員 私からは、まず「おかえり文化」というところで、これは非常に
重要な視点だと思います。私も関西大学の取組みの中で「関わり続ける定
住」と言って、継続的に関わる、あるいは愛着を持って関わり続けるという
授業をしています。丹波市に住んでいなくともふるさと意識を持っている人
がどれだけたくさんいるかということが重要だと思いますので、そういった
ことをやっていくのも大変重要だと思っています。そのときに先ほどの授業
のこともありますが、子供たちは大変忙しい中で、どういったことを実現
していくと、どう文化を継承していけるかということが地元側からしたら分
かりにくいところでもあります。「知識循環型生涯学習」という項目があり、
その目的で「生きる力を育む」とありますが、それ以外にも学んだことを生
きる力にするだけでなく、そういったものが「おかえり文化」を育むのに重
要な役割を果たすのかなと思っています。それを読んだ人が分かるように、
うまくつながれば良いと思いました。生きる力を育むプラスもっと何かある
のかなということで考えられたらと思いました。

○谷口市長 私は生きるカイコール、先ほどの話にも通じるのですが、役所任
せにせず、真の住民自治を育む。まずは自分のことは自分で考える。その中
で役所にやってほしいことはしっかり言っていただければ良い。何から何ま
でというのではなくて、自分のことは自分で考えていくという、自助、共助
がまず基本だと思っている。先ほどの出町委員のおっしゃったような意味を
もう少し、付け加えられたらと思いました。

○出町委員 子供たちが将来帰って来たいと思うような経験を学校の中だけで

積むのはなかなか大変だと思っています。地域の中で、地域の様々な人との接点の中で魅力を気づくことがあると思うので「知識循環型生涯学習」という色々な学びを得た人が特別な場所でないと知識を還元できないと思われるとつらいと考えます。ほんのちょっとした子供たちと朝、出会って挨拶をするとか、色々な接点があって、イベントなどになるともっとたくさんの接点が出てきたりするかもしれないのですが、小さな接点はたくさんあるので、そういった中で還元していくのが良いと考えておりました、生きる力というのは自分の力になっているという感じがあるので、それプラス誰かのために地域のために還元するという言葉が入っていると、何のために知識循環型学習を進めていくのかということが受け手にとって分かりやすいのかなということを感じました。

○谷口市長 丹波篠山市の教育大綱を見ているのですが、挨拶の励行というのも7つの目標の1つに入っています。そういうものも必要だと思います。基本計画の中に入っていなくても大綱の中に入れて良いのであれば、取り組みやすいことを書いてもいいのかなと思っています。文科省が提唱している「早寝早起き朝ごはん」というのも分かりやすい。

ですから基本計画から要約して書くだけでなく、丹波篠山市長が自分の言葉で書かれたのかなと思っています。単に基本計画を要約するだけではなく、実際に市民や子供たちに届くような言葉で書くのが良いかなと思います。

○村上部長 安田委員、いかがでしょうか。

○安田委員 「ふるさとに愛着と誇りを」というところで、3番のバックキャストリングという言葉ですが、夢を描いてそれに向かって何ができるか、というところが印象に残っています。私はもともと美容師をしていたのですが、今は印刷物のデザインの仕事をしております。自分が何をしたいかということ考えたときに、自分がどういうことが得意で何ができるかという、まず自分を知ることが大切だと思います。子供たちに夢や目標を持ちなさいと言っても、その子自身が、自分は何が得意でどういったことができるの

かということを知らないと、夢や目標までの順序を考えるのは難しいと思います。学校でも自分の好きなことやしたいことを書く機会があって、それに対して何ができるかということを書いているのですが、もっと深く掘り下げて書いていかなければいけないと感じています。

長期の目標と、中間地点、今できること。そのできることに対して、例えば、

私は美容師をしたいと思って、そのとき、まず美容師はどのような職業かを知りたくて、近所にある美容室に行って、見習いをさせてくださいとお願いして飛び込んで、最終的にはそこに就職させていただいたのですが、現場に入らないと分からないこともある。自分がこうなりたいという目標があればそこに行ってみるという機会を、子供たちに身近にそういうことを感じさせてあげられることがあればと感じました。

○村上部長 教育長、いかがでしょうか。

○岸田教育長 1つ1つの文言や文末表現は少し修正したほうが良いと思っておりまして、例えば「期待している。」、「進める」とか「臨む」とか、文末が教育大綱なので、例えばSDGsといわれているのは、今回学習指導要領で持続可能な社会の担い手を育むというのが大きな意義なので、そういった表現があるのかなど。あるいは「特別支援、いじめ、不登校に寄り添い」というのも意味は分かるのですが「多様性のある子供たち一人ひとりに寄り添う」などという表現にもできるといった気になる箇所があるのですが、意味合いは残しておきながら書き直したら良いと思う。

「おかえり文化」や「まちの幸福論」に関することは、振興基本計画の中では触れていないので、市長の思いが出ていて良いと思います。内容には異論はありませんが、表現的なことだけ統一したらどうかと思います。

○村上部長 ありがとうございます。具体的な案を教育長もお持ちのようですので、そういったものをまとめていただいて、また、今日ご意見伺いましたものを持って協議させていただけたらと思います。

その他、何かございませんか。

- 出町委員 市長にお聞きしたいのですが、ここに1から4の番号が振ってありますが、これは表現上必要なのでしょうか。ぱっと見たときに順番で、どをとるかというのはありますが、番号表現が順序のようにとられる可能性があります。こういう書き方をすると絶対に順番はできるのですが、順序のようにとられる可能性があるのかなと。
- 谷口市長 色々なことをするときには施策の優先順位とか何に重きをおいているのかということを確認にすべき立場にあると思っています。その意味ではこの1から4は重要な順番です。そうご理解いただきたいと思います。ただ、どれくらい重要なのかと言われると、それはなかなか言い難いですが物事がいくつもあるときに、大切なものから当然先に書きます。そういう力をこめて「ふるさとに愛着と誇りを」1番におきました。最後の生涯学習は、教育委員会というよりもまちづくり部でやっております、今日、答申がでますが、そういう意味で最後におかせていただきました。ですので、私としては、番号は振りたいということです。
- 私が教育委員会のことに口を出すのはおかしいと思っています。ただ、教育振興基本計画を2回3回と読みましたが、これを追認して同じものを大綱ですとすればそれで終わりなのですが、そうは済ませたくないと思いましたがそこでこういったものを作ったという次第です。ですので、ここがおかしいというものがあれば明確にしていきたいのです。
- 出町委員 私は見たときにどの項目も重要だと思いましたが、縦書きではなく、並列になるようなものかと思いましたが、このような質問をさせていただきました。市長の思いは分かりましたので、それで良いかと思えます。
- 村上部長 他にございませんでしょうか。無いようでしたら、本日初めてご覧いただいたということもございますので、後程、ご意見などございましたら総務課にお知らせいただけたらと思います。

それでは教育大綱につきましては以上にしたいと思います。次に2番目の令和2年度教育関係予算につきまして、教育部長お願いします。

○藤原部長 お手元でございます、令和2年度丹波市予算ガイドの教育委員会所管分についてご説明申し上げます。

24ページをご覧ください。新規事業としまして病児保育事業（病児対応型）実施に向けての検討でございます。現在、認定こども園では体調不良児対応型の保育事業を実施しておりますが、病気などによって集団保育ができない状況、保護者の就労により家庭で保育が困難な場合の病児対応型というものについて実施をしておりません。令和2年度には庁内の関係課で検討会を設置し、実施に向けた検討を進めていきたいところです。

次に27ページをご覧ください。保育人材確保事業でございます。全国的にも保育教諭の確保が課題になっておりますが、正規の保育教諭の給与改善、子育て支援研修など、保育人材確保策を引き続き推進するものでございます。

次に28ページでございます。質の高い就学前教育・保育の実施でございますが、認定こども園が抱える課題解決を図るための課題解決型補助金の交付やコーディネーターの配置、保育教諭を対象としたキャリアアップ研修の実施などによりまして就学前教育の質の向上を図るための施策でございます。

次に53ページをご覧ください。黒井城跡の遺構の保護と登城者の安全確保を図るために黒井城跡落石防止対策工事を実施するというものでございます。

次に55ページをご覧ください。水分れ資料館リニューアルでは、令和3年3月のリニューアルオープンをめざし、展示の製作、設置及び建物の改修工事を進めます。また教育普及専門員を核に、県立人と自然の博物館などとの連携を図り、イベント等を企画開催いたします。

64ページをご覧ください。デジタル教科書の拡充ということで、児童の興味関心を高めるとともにより理解を深めることができるツールとして、これまでの4年生から6年生以外に小学校3年生にも算数のデジタル教科書を導入するという事業でございます。

次に65ページでございます。プログラミング教材の導入では、令和2年度から必修化される小学校プログラミング教育の実施に向けて、教材としてマ

マイクロビット、オゾボットを購入して教材として授業で活用してまいります。

66ページでございます。小中学校校務用パソコン等更新でございます。平成26年度に、一斉に小中学校に導入されたものについて、ICT機器更新計画に基づいて実施を行うものでございます。

次の67ページでございます。小中学校校内LAN整備及びタブレットパソコン導入（繰越分）でございます。文部科学省のGIGAスクール構想に基づきまして令和5年度までに児童生徒が1人1台のパソコンを使える教育環境を実現ということで国の補正がつきましたので、校内LANの整備工事と小学校5、6年生、中学校1年生を対象にした1人1台のパソコンを整備することが予算化されておりますので補正予算に計上し、実際は繰越して令和2年度に実施をするものでございます。

68ページでございます。小学校施設整備では、小川小学校東校舎大規模改造工事、崇広小学校プール改造工事を今年度の補正予算に計上し、繰越明許しまして令和2年度に実施するというものでございます。また、久下小学校大規模改造・エレベーター新設工事に向けては、設計業務を実施いたします。

69ページでございます。学校給食センター厨房機器等の更新では、学校給食運営基本計画に基づいて、計画的に各学校給食センターの厨房機器等を更新します。

70ページでございます。山南地域市立中学校整備事業では、令和5年4月の開校をめざし、現在協議を進めているわけですが、令和2年度には校歌・校章の公募・選定や、新校舎の基本設計、実施設計を行ってまいります。

71ページでございます。スクール・サポート・スタッフの配置では、教職員の長時間労働の解消と、児童に向き合う時間の確保を目的に、スクール・サポート・スタッフを6名配置し、教職員の負担軽減を図ってまいります。

次に72ページでございます。コミュニティ・スクールの充実でございますが、保護者や地域の人たちが当事者意識を持って学校運営に参画する地域とともにある学校づくりを進めるため、令和2年度から学校運営協議会と地域活動・市民活動をつなぐ地域学校協働活動推進員を配置します。また小学校区だけでなく、中学校区でも学校運営協議会を導入してまいります。

73ページをご覧ください。行政・教育アドバイザーの設置では、高度の専門的な知識及び経験を有する学識者としてカーネギーメロン大学の金出武雄教授をアドバイザーに招請し、予測困難な時代を生きていくために小中学生や教職員へのアドバイス、また、市の政策課題に対するアドバイスをいただくことにしています。

最後に74ページ、75ページでございますが、美術館の個性を活かした展覧会の開催では、集客にも配慮しながら個性的な展覧会として日本のポスター展などのほか、6回の企画展を開催するものでございます。以上でございます。

○村上部長 ありがとうございます。この件につきまして何かご質問などございましたらお願いします。

特にございませんか。無いようでしたら、次の意見交換に移らせていただきます。4のその他もあわせてですが、協議事項以外に何かございましたらお願いします。

ございませんか。無いようでしたら、それでは、皆様、スムーズな進行にご協力いただきありがとうございます。

本年度3回目の会議ということで、本年度最後の会議でございます。来年度につきましても、またよろしくお願ひしたいと思います。以上をもちまして総合教育会議を終了させていただきます。